

2024年度 事業報告書

公益財団法人 日本ハンドボール協会

【2024年度 事業の概況】

2024年度は、競技力向上の面では男子日本代表チームが36年ぶりに自力でパリオリンピック出場を果たし、非常に意義のある一年でした。オリンピック前の海外遠征、壮行試合と強化を進めましたが、パリオリンピックにおいては、残念ながら善戦はするものの後一步及ばず11位（12チーム中）という成績でした。アンダーカテゴリーにおいては、男子U-21においてはアジア選手権で連覇、U-19においてはアジア選手権初優勝で大会を終えることができました。一方、女子代表チームは第20回女子アジア選手権において20年ぶりの優勝を果たし、女子U-18は第10回女子ユース世界選手権において8位という素晴らしい成績を収めました。男女共にロサンゼルスオリンピックに向けて明るい兆しが見える一年となりました。

日本代表の活躍に加えて広報活動を拡充することで、テレビ・新聞などの国内メディアに取り上げられることが多くなりました。8月には2年連続となるパリ・サン=ジェルマン ハンドボールジャパンツアー2024では、代々木第一体育館に5,000人を超す観客が集まりました。また、全ての国際試合のライブ配信の取組に加えて、全国高等学校選抜大会や春の全国中学生選手権大会においては、一回戦から全試合ライブ配信を行い、ダイジェスト版においてはそれぞれ1,331千回以上、551千回以上再生されるなど、新しい取り組みが進化した一年となりました。

指導普及に関しては、日本中学校体育連盟の指針に基づき2027年度から全国中学校大会が廃止されることを受け、新しい大会のフォーマットについての協議を開始しました。学校スポーツから地域スポーツへの移行という大きな流れは加速することより、日本ハンドボール協会としては競技普及及び競技人口増加を目指すためにも、小学生・中学生の大会の整備及びフォーマットを検討継続していきたいと思います。

組織運営面では、各種規程の改定に取り組んできましたが、引き続き規程の整備・改善をしてまいりたいと考えております。また、山積する課題を解決するために、14回（含む書面決議）の臨時理事会を開催いたしました。今後は組織判断のスピード化をはからなければならないと感じる一年となりました。また、2023年度の経常増益額▲136百万円から▲84百万円と改善はしたものの、引き続き収益の健全化に向けた取組をすべく、事業計画の予実管理の取組を開始いたしました。

以下、各本部、委員会単位での今年度の活動を報告いたします。

【2024年度 事業報告】

1. 競技力向上に関する事業

(目標)

1. パリオリンピック大会出場の為、世界基準のフィジカル・技術&戦術・メンタルの向上を図る。
2. 男子は欧州以外の世界で Top 5、女子は世界で Top 8 を目標とする。
3. 「2024&28 強化戦略プラン」の策定と計画的な実行を推進する。
4. 指導普及本部と連携し、将来人材（選手及び指導者）の育成を推進する。
5. 日本代表のアイデンティティを確立し、応援され、憧れられるチームを目指す。

1) 男子代表

- (1) 国内強化合宿@ANTC
 - ・第1回：5/6～12、第2回：6/16～30、第3回：10/11～13、第4回：10/30～11/3、第5回：12/16～1/4
- (2) 海外遠征
 - ・7/20～21@ドイツ
 - ・11/4～11@エジプト
 - ・1/5～13@ポーランド
- (3) 国際親善試合@国立代々木第一体育館
 - ・7/1 vs フェロー諸島男子代表 ●29-30
 - ・7/3 vs フェロー諸島男子代表 ○31-25
- (4) 第33回オリンピック競技大会2024(パリ)
 - ・7/25～8/11@フランス・パリ、最終結果：11位（12チーム出場）
- (5) パリ・サン＝ジェルマンハンドボールジャパンツアー2024@国立代々木第一体育館
 - ・8/22 vs P S G ●31-37
- (6) 第29回男子世界選手権
 - ・1/14～2/2@クロアチア/ノルウェー/デンマーク、最終結果：28位（32チーム出場）

2) 女子代表

- (1) 国内強化合宿@ANTC
 - ・選考合宿：10/21～24、第1回：11/17～29
- (2) 海外遠征
 - ・4/2～9@デンマーク
- (3) パリオリンピック2024IHF女子世界最終予選
 - ・4/11～14@ハンガリー、最終結果：3位（4チーム出場）
 - ＊上位2チームがパリオリンピック出場権獲得
- (4) 第20回女子アジア選手権
 - ・11/30～12/12@インド、最終結果：優勝（8チーム出場）2004年以来20年ぶり2回目

3) アンダーカテゴリー代表

- (1) 男子U-21
 - ①国内強化合宿
 - ・第1回：6/7～9、第2回：6/28～30、第3回：7/5～8、第4回：3/28～31
 - ②第18回男子ジュニアアジア選手権
 - ・7/14～25@ヨルダン、最終結果：優勝（13チーム出場）2022年に続き連覇達成
- (2) 男子U-19
 - ①国内強化合宿
 - ・第1回：6/3～7、第2回：7/3～7、第3回：8/26～31、第4回：2/25～28
 - ②第10回男子ユースアジア選手権
 - ・9/3～14@ヨルダン、最終結果：優勝（13チーム出場）初優勝

- (3) 女子U-20
 - ①国内強化合宿
 - ・第1回：4/23～25、第2回：6/7～9、第3回：6/14～16、
 - ②第24回女子ジュニア世界選手権
 - ・6/19～30@北マケドニア、最終結果：20位（32チーム出場）
- (4) 女子U-18
 - ①国内強化合宿
 - ・第1回：5/13～16、第2回：7/16～19、第3回：8/9～12
 - ②第10回女子ユース世界選手権
 - ・8/14～25@中国、最終結果：8位（32チーム出場）

4) 強化委員会

強化戦略プランの作成・改廃・進捗チェック

- (1) 強化戦略プランおよび段階的人材管理ツール（FTEM）作成プロジェクト参画
 - 2024年度アスリート育成パスウェイ構築のための研修会及び説明会参加（対面・web会議）
 - ＝発掘・育成・国際との協働
- (2) 協働チームによるコンサルテーションを12/10実施（対面・web会議）
 - 参加：独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本ハンドボール協会
 - ・2024・28年強化戦略プランを改訂し、協働チームと共有
 - ・強化戦略プラン2025年度版の提出
- (3) 強化委員会（1回/月）開催、臨時強化委員会14回/年、実施方法はweb会議・対面併用
 - ・2024年度各カテゴリー日本代表チームの国際大会派遣検討
 - ・2024年度第2～4四半期JOC強化スタッフを選出し、JOCへ推薦
 - ・2024年度第1四半期JOC強化スタッフを選出し、JOCへ推薦
（強化・情報科学・体力科学・メディカルサポート委員会との協働）
 - ・2024年度第2～4四半期JOC強化指定選手を選出し、JOCへ推薦
 - ・2025年度第1四半期JOC強化指定選手を選出し、JOCへ推薦
 - ・2024年度アスリート助成候補選手を選出し、JOCへ推薦
 - ・2024年度U-15ジュニアセレクトカップ大会における優秀選手の選出
 - ・女子代表監督を選出し、理事会へ推薦

5) 情報科学委員会

- (1) Internet Communication Technology（ICT）を活用した効果的な情報の集積・フィードバックのシステム構築の推進
 - ・これまで構築してきたインターネットやSNSを用いた情報収集方法の知識化し、担当者によるスキルのばらつきを小さくし、かつデータ集積及びチームや強化本部へのフィードバックを行ってきた。
 - ・具体的には、対戦国チームのチーム情報及びフレンドリーマッチや大陸予選などの映像を取得し、それら情報は、XPSサイドラインを用いて集積を行い、チームスタッフや情報科学委員会及び強化本部での情報の共有を行った。
 - ・大会時には、昨年度までに開発したICTを用いたリアルタイムフィードバックシステムを用いて、海外で行われている試合を国内の分析スタッフがリアルタイムに試合視聴かつ分析を行うことで、現地スタッフへ試合の統計情報や映像のリアルタイムフィードバックを行った。
 - ・トレーニングキャンプ時にもトレーニング映像の集積・分析し、日々のコーチングに映像資料として役立てた。
 - ・帯同メディカルスタッフと協働して、心拍数や主観的運動強度などを用いてトレーニング状況の把握する仕組みを立ち上げた。
- (2) 男女日本代表及びアンダーカテゴリー代表へのICT及び情報収集、分析などの活動支援
 - ・上述しているように、それぞれのチームを担当する担当アナリストのみならず、その他の情報科学委員会委員で、大会ごとに情報分析サポートチームを作成し、練習時や大会時に様々な情報（映像、生体情報、位置情報などを含む）の収取・集積・分析を行いチームの強化活動の支援を行った。

①国内外・合宿大会の帯同

・男子代表

第1回強化合宿（5/6～12）、第2回強化合宿（6/16～30）、国際親善試合（7/1、3）、海外遠征（7/20～21）、第33回オリンピック競技大会2024パリ（7/25～8/11）、パリ・サン＝ジェルマンハンドボールジャパントアール2024（8/22）、第3回強化合宿（10/11～13）、第4回強化合宿（10/30～11/3）、海外遠征（11/4～11）、第5回強化合宿（12/16～1/4）、海外遠征（1/5～13）、第29回男子世界選手権（1/14～2/2）
上記の国内の強化合宿および海外遠征・大会にて、練習時のハンドボールの攻撃や守備の戦術分析を量的・質的におこない、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化するためのデータの提供を行った。また、選手の戦術理解の向上のための資料として、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善など多岐に渡る資料作成を担当した。帯同メディカルスタッフと協働して、心拍数や主観的運動強度などを用いてトレーニング状況の把握も始め、効果的なウォーミングアップ強度やトレーニング時の疲労状況についての把握を行った。

・女子代表

海外遠征（4/2～9）、パリ2024オリンピックIHF女子世界最終予選（4/11～14）、選考合宿（10/21～24）、第1回強化合宿（11/17～29）、第20回女子アジア選手権（11/30～12/12）
担当アナリストが上記の国内合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析を行い、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化するためのデータの提供を行った。練習及び試合（公式戦も含む）時に心拍数の管理を行い、効果的なウォーミングアップの強度管理も行った。パリ2024オリンピックIHF女子世界最終予選とアジア選手権及びこれら大会前の国内合宿に担当アナリストが参加し、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等などのための資料を作成し、チーム力向上に貢献した。

・男子U-21

第1回強化合宿（6/7～9）、第2回強化合宿（6/28～30）、第3回強化合宿（7/5～8）、第18回アジア選手権（7/14～25）、第4回強化合宿（3/28～31）

・男子U-19

第1回強化合宿（6/3～7）、第2回強化合宿（7/3～7）、第3回強化合宿（8/26～31）、第10回アジア選手権（9/3～14）、第4回強化合宿（2/25～28）

・女子U-20

第1回強化合宿（4/23～25）、第2回強化合宿（6/7～9）、第3回強化合宿（6/14～16）、第24回世界選手権（6/19～30）

・女子U-18

第1回強化合宿（5/13～16）、第2回強化合宿（7/16～19）、第3回強化合宿（8/9～12）、第10回世界選手権（8/14～25）

・男女それぞれのアンダーカテゴリチームでは、上記の国内合宿および国際大会へアナリストを派遣し、チーム力向上にむけた資料作成のため練習及びトレーニングマッチ時の量的・質的分析を行った。特に、男子アンダー代表チームのアジア選手権では大会期間中には、国内で帯同アナリストの後方支援をするアナリストチームを発足させ、試合時にそれぞれの自宅からインターネットを通じて集まり、リアルタイムに試合を分析することで現地に情報を発信し続けた。

②アナリストチーム

・東京オリンピック大会期間中には、男女それぞれの担当アナリストの他に、4名のアナリストをANTCに集合させ、男女日本代表チームおよびそれぞれの対戦相手チームの量・質的分析をより高度に、より詳細に行うことで、担当アナリストの後方支援を行うシステムを構築した、それを発展させ、昨年度まで試行していた個々の自宅からインターネットを用いて集合し、日本チームや対戦国チームの試合のライブ分析を行い、その量・質的な分析情報をリアルタイムに現地のアナリストへ提供するシステム運用できた。この方法により従来まで帯同する担当アナリスト1名に過大な負担を強いていた業務を、試合現場にいない数名のアナリストが対面およびオンラインといった2つの手法を用いてサポートするという体制ができ、従来よりも効率的な分析を行い、より高度な情報をより短時間に提供することのできる体制の構築ができた。

(3) 大会テクニカルレポートの作成

・代表チームの主要大会参加後、大会にて収集した情報を用いて定性的・定量的なテクニカル

レポートを作成した。資料は以下URLおよびXPSサイドライン内に格納済み。

<https://tus.box.com/s/tdflx8pgwstmaydyulo48y0sr3g2wxq4>

第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）⇒<https://lookerstudio.google.com/s/g7H1l0x1ICs>

第29回男子世界選手権

⇒<https://lookerstudio.google.com/reporting/15b94865-2188-4ded-82dc-ed7c07545a68>

7) 体力科学委員会

- ・体力科学委員会の事業内容は、2024年度に実施された日本国内ジュニア優秀選手のトレーニングキャンプにおいて体力測定を実施し、各選手の体力レベルを評価し、フィードバックすることであった。本委員会からジャパンライジングスタープロジェクト（Jスター）、National Training System センタートレーニング（NTS）、National Training アカデミー（NTA）の開催地へ委員会メンバー（測定員）を派遣し、それぞれのトレーニング事業に参加した選手の体力測定を実施し、データベースの作成、体力レベル表（体力基準）の作成、及び現場運用（選手選考及び評価）を行った。2017年度から継続している体力テスト測定事業は2024年度で8年目を迎えた。

(1) 基準値「体力レベル表」

表1 男子ジュニア選手の体力レベル表（n=1588より算出）

U13男子	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	Lv.1	35	151.9	5.17	185.1	1.14	21.8	18.54	4.14
	Lv.2	40	156.2	5.00	195.1	1.20	24.4	18.06	3.98
	Lv.3	45	160.4	4.82	205.2	1.25	27.1	17.58	3.83
	Lv.4	50	164.6	4.65	215.2	1.31	29.7	17.10	3.67
	Lv.5	55	168.8	4.48	225.3	1.36	32.3	16.61	3.52
	Lv.6	60	173.1	4.31	235.3	1.42	35.0	16.13	3.36
	Lv.7	65	177.3	4.14	245.4	1.48	37.6	15.65	3.21
	Lv.8	70	181.5	3.96	255.4	1.53	40.3	15.17	3.05
	Lv.9	75	185.7	3.79	265.5	1.59	42.9	14.69	2.90
	Lv.10	80	190.0	3.62	275.5	1.65	45.5	14.21	2.74
U16男子	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	Lv.1	35	168.8	4.65	212.0	1.18	28.3	17.67	4.10
	Lv.2	40	171.6	4.54	221.1	1.24	30.9	17.24	4.00
	Lv.3	45	174.4	4.42	230.2	1.30	33.6	16.81	3.90
	Lv.4	50	177.2	4.31	239.2	1.35	36.2	16.38	3.81
	Lv.5	55	180.0	4.19	248.3	1.41	38.8	15.95	3.71
	Lv.6	60	182.8	4.08	257.4	1.46	41.4	15.53	3.62
	Lv.7	65	185.7	3.96	266.5	1.52	44.0	15.10	3.52
	Lv.8	70	188.5	3.85	275.5	1.58	46.6	14.67	3.43
	Lv.9	75	191.3	3.73	284.6	1.63	49.3	14.24	3.33
	Lv.10	80	194.1	3.61	293.7	1.69	51.9	13.81	3.23

表2 女子ジュニア選手の体力レベル表（n=1494より算出）

U13女子	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	Lv.1	35	150.1	5.37	172.3	1.09	17.2	19.38	3.94
	Lv.2	40	152.9	5.22	179.4	1.13	18.9	18.94	3.85
	Lv.3	45	155.7	5.07	186.6	1.18	20.6	18.50	3.77
	Lv.4	50	158.5	4.91	193.7	1.22	22.3	18.06	3.68
	Lv.5	55	161.3	4.76	200.8	1.27	24.0	17.62	3.60
	Lv.6	60	164.1	4.61	208.0	1.31	25.7	17.17	3.51
	Lv.7	65	166.9	4.46	215.1	1.36	27.4	16.73	3.43
	Lv.8	70	169.7	4.30	222.2	1.40	29.1	16.29	3.34
	Lv.9	75	172.5	4.15	229.4	1.45	30.9	15.85	3.26
	Lv.10	80	175.3	4.00	236.5	1.49	32.6	15.41	3.17
U16女子	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	Lv.1	35	155.0	5.32	168.8	1.03	19.5	19.43	4.01
	Lv.2	40	157.7	5.15	178.2	1.09	21.4	18.89	3.90
	Lv.3	45	160.4	4.99	187.5	1.15	23.2	18.35	3.80
	Lv.4	50	163.1	4.82	196.9	1.21	25.1	17.81	3.70
	Lv.5	55	165.8	4.66	206.2	1.27	27.0	17.27	3.60
	Lv.6	60	168.5	4.49	215.6	1.33	28.9	16.73	3.50
	Lv.7	65	171.3	4.33	224.9	1.39	30.7	16.20	3.40
	Lv.8	70	174.0	4.16	234.3	1.45	32.6	15.66	3.29
	Lv.9	75	176.7	3.99	243.6	1.51	34.5	15.12	3.19
	Lv.10	80	179.4	3.83	253.0	1.56	36.4	14.58	3.09

J/H比：身長に対する立幅跳の比、I/S比：30m直線走に対する60mイリノイ走の比

- ・表1・2に示した体力レベル表は、2017年から2022年、NTSブロックトレーニング・チャレンジトレーニングに参加したジュニア選手の体力測定結果より算出された基準表であり、同トレーニングに参加した年代別優秀選手の体力値の「平均値」が「レベル4（偏差値50）」に相当する。U-13選手でも安全・簡便であり、大型機器を用いなくても現場測定可能な、走・跳・投・アジリティ（身のこなし）項目からなる。各選手の目標設定（目標レベル）をはじめ、選手選考、体力レベルの根拠資料（対外用提出データ）としても活用されている。

(2) NTSセンタートレーニング及び、NTAナショナルトレーニングアカデミーの体力

- ・本委員会ではこれまで指導・育成・普及委員会の NTS・NTA 担当者と連携し、NTS全国ブロック・チャレンジトレーニング、NTSセンタートレーニング、NTAアカデミートレーニング時に体力測定会を行っており、本委員会の中心的な実地事業となっている。今年度の測定は、すべてのNTSセンタートレーニング（男子 n=27、女子 n=22）及びNTAアカデミートレーニング（男子 n=28、女子 n=28）において体力測定を実施した。選手選考には、本委員会で作成された2017年～2022年までの蓄積データから算出された体力レベル表が活用された。本年度のNTS、NTA選出選手の体力は、男女とも身長はレベル3～4、体力項目は概ねレベル4～5、投力のみレベル5～6であった。「体力」からの視点においては、小柄で体力バランスの良い、投力重視の選手選考であったと考えられた。

表3 NTS及びNTAに選出された選手の体力値

	身長 cm	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (2号球)	イリノイ走 sec.	I/S比	n
2024NTS C-Tr (CP) 女子	163.0	4.66	207.0	1.27	28.3	17.09	3.67	22
2024NTS C-Tr (CP) 男子	176.8	4.23	242.5	1.37	41.6	16.27	3.85	27
2024NTA U16 (CP) 女子	165.0	4.70	205.1	1.23	29.9	17.21	3.66	28
2024NTA U16 (CP) 男子	178.0	4.23	241.4	1.35	38.7	16.02	3.79	28
	身長 cm	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (2号球)	イリノイ走 sec.	I/S比	n
2024NTS C-Tr (GK) 女子	165.4	4.66	200.6	1.21	25.1	17.46	3.75	5
2024NTS C-Tr (GK) 男子	183.9	4.36	228.6	1.24	42.1	17.06	3.91	5
2024NTA U16 (GK) 女子	167.8	4.93	202.5	1.21	26.7	18.21	3.71	9
2024NTA U16 (GK) 男子	182.9	4.42	238.1	1.30	34.6	16.69	3.79	9

なお、今年度実施されたNTS、NTAの開催日程は次の通りであった。

<NTS開催日程>

- 11/16～17 NTSセンタートレーニング U-13@ANTC
- 1/10～13 NTSセンタートレーニング U-15@ANTC

<NTA開催日程>

- 5/17～19 第1回 NTAナショナルトレーニングアカデミー@ANTC
- 10/18～20 第2回 NTAナショナルトレーニングアカデミー@ANTC
- 11/22～24 第3回 NTAナショナルトレーニングアカデミー@ANTC
- 2/14～16 NTA GKキャンプ@東京
- 2/22～24 NTA GKキャンプ@愛知

*GKキャンプでは、体力測定は実施しなかった。

(3) NTS・NTAからアンダーカテゴリー日本代表に選出された選手の体力（男子のみ）

- ・2017年～2022年までにアンダーカテゴリー日本代表に選手された男子選手の体力を抽出した結果、コートプレーヤー（CP）では身長、立ち幅跳、スロー、一方ゴールキーパー（GK）では身長、スプリント、立ち幅跳、スロー、イリノイ走で、NTS・NTA選手平均値よりも有意に優れた選手群が選出されていた。全体的に、体格と投球力を重要視している中、GKで選出された選手は体格と体力バランスに優れた万能型選手であった（表4）。一方、女子選手のアンダーカテゴリー日本代表選手データについては、現在、抽出・集計中であり次年度以降に報告する。

表4 アンダーカテゴリー日本代表歴のあるコートプレイヤー（CP）と
ゴールキーパー（GK）のU16当時の体力

	身長 cm	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (2号球)	イリノイ走 sec.	I/S比	n
2017-22NTS/NTA (CP) 男子	174.4	4.30	238.2	1.37	37.0	16.27	3.78	596
2017-22NTS/NTA (CP) 男子 *U代表歴のある選手のみ	180.2	4.31	245.3	1.36	41.8	16.35	3.80	43
2017-22NTS/NTA (GK) 男子	178.3	4.47	229.9	1.29	33.9	16.92	3.80	126
2017-22NTS/NTA (GK) 男子 *U代表歴のある選手のみ	180.7	4.36	240.7	1.33	41.0	16.37	3.76	9

(4) J-Starプロジェクトに参加した選手（女性のみ）の体力

- ・競技転向型タレント選手（7期生 n=4）の体力向上事業は、専門測定会から検証合宿（計5回）まで1年間にわたって実施された。対象が中学生（主に1・2年生）年代の女子選手であったことから、強化コーチによるハンドボール基礎技術トレーニングと併行して、ドクター・トレーナー及び体力委員会メンバーから適切な生活面指導・体力トレーニング指導も実施され、継続的な体組成と体力測定評価が実施された。

表5 J-Star プロジェクトに参加したU16選手の体力値（過去7年間）

	身長 cm	体重 kg	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (2号)	イリノイ走 sec.	I/S比	280m コート シャトル走 sec.
1期 2018年度	162.04	53.69	5.00	209.71	1.29	25.33	17.70	3.54	67.64
2期 2019年度	166.00	52.75	4.52	217.60	1.31	26.50	16.75	3.71	63.43
3期 2020年度	165.24	56.20	4.73	217.00	1.31	23.00	17.62	3.73	65.38
4期 2021年度	169.50	58.50	4.34	230.00	1.36	24.23	16.75	3.86	61.33
5期 2022年度	166.65	55.60	4.62	221.00	1.33	24.40	16.85	3.65	60.25
6期 2023年度	165.46	58.94	4.66	216.80	1.31	26.92	17.01	3.64	64.20
7期 2024年度	164.63	61.23	4.53	221.50	1.35	30.43	16.58	3.66	63.50

- ・7年目の体力レベル（網掛け部分）をみると、より体格が良く、且つ「速い、跳ぶ、投げる」選手の選考・育成が実施されていることが窺える。選手選考の際、体力重視であり、ハンドボールスキルレベルの関与度が相対的に低いことも一要因として挙げられるが、各選手の体力目標は、概ね「レベル6・レベル7（体力レベル表）」を目指して設定されていた。表6にJスター7期生の体力変化を示した。約1年弱の検証期間で、体格・体力全ての項目で改善したことが示され、筋力、瞬発力、特に投能力の向上、イリノイ走（身のこなし）などハンドボール特異的体力の増進も目立った。

表6 2024年度7期生（n=4）の体力改善（検証合宿初回データと最終測定データの比較）

	身長 cm	体重 kg	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (1号球) <座位><立位>		スロー m (1号球) <座位><立位>	
2024検証 初回	163.75	57.66	4.66	213.50	1.30	16.23	26.53	15.55	24.60
2024検証 最終	164.63	61.23	4.53	221.50	1.35	21.85	30.60	20.73	30.43
	イリノイ走 sec.	I/S比	280m C 走 sec.	握力 (右) kg	握力 (左) kg				
2024検証 初回	17.11	3.68	63.75	31.78	32.38				
2024検証 最終	16.58	3.66	63.50	36.30	35.83				

なお、今年度実施されたJスター検証合宿の開催日程は次の通りであった。

<J-Star検証合宿開催日程>

第1回：6/21～23@仙台大、第2回：8/19～21@中部大、第3回：10/18～20@ANTC、
第4回：12/26～28@ANTC、第5回：1/30～2/1@ANTC

*その他、計10回のオンライントレーニングサポート

(5) その他の体力科学委員会の活動

- ・6/29 東京都デフリンピックチャレンジトライアウト@府中市⇒体力測定と評価
- ・11/30、12/14 和歌山県タレント発掘・育成事業「スポーツマッチングプロジェクト
～やっCharる～」@和歌山県内体育館2カ所⇒体力測定と評価

- ・11/16～17 J-Starプロジェクト専門測定会⇒体力測定と評価
*西日本地区（福岡）日本スポーツ振興センターと連携
- ・12/28～29 J-Starプロジェクト専門測定会⇒体力測定と評価
*東日本地区（ANTC）日本スポーツ振興センターと連携
- ・2/23 J-Starプロジェクト専門測定会⇒体力測定と評価
*和歌山県及び日本スポーツ振興センターと連携

8) 医事活動（メディカルサポート委員会・医事専門委員会）

(1) 委員会（4回/年以上）

- ・Web、メールなどを介してメディカルサポート委員会会議を行った（18名参加）。併せて、日本ハンドボールリーグ（以下、リーグH）でのドクター配置について検討した。
- ⇒①脳震盪や外傷障害の広報工夫拡充について議論し、JHAホームページを更改した。
- ②リーグHの拡充に向けて、日本全国での開催に対応できるようにメディカルサポート委員会メンバーを拡充していくこととなった。正会員・準会員などによる構成員の広域化、多様性を推進する。
- ③アンチ・ドーピング教育について従来通りに行っていくことを確認した。
- ④コロナ感染について、国の指針通り5類のカテゴリーに沿って対応していくことを確認した。
- ⑤医薬品の取り扱いについては現状通り、遠征時には帯同ドクターが準備することとなった。
- ⑥海外並びに国内帯同ドクターの帯同報告ならびに当該年度のドクター選定を行った。また、世界ドーピング防止機構（以下、WADA）codeの規程改定の確認を行った。

(2) 帯同ドクターの派遣

- ・男女代表、男女アンダーカテゴリー代表における国内及び海外遠征にドクターを派遣した。併せて、アンチ・ドーピング研修を実施した。

①男子日本代表

国内強化合宿、7月国際親善試合及びドイツ遠征・パリオリンピック、11月海外遠征、1月海外遠征及び第29回男子世界選手権

②女子代表 国内強化合宿、4月海外遠征及びパリオリンピック2024IHF世界最終予選、11月第20回女子アジア選手権

③男子U-21 国内強化合宿、7月第18回男子ジュニアアジア選手権

④男子U-19 国内強化合宿、9月第10回男子ユースアジア選手権

⑤女子U-20 国内強化合宿、6月第24回女子ジュニア世界選手権

⑥女子U-18 国内強化合宿、8月第10回女子ユース世界選手権

(3) ドクター派遣

全日本ビーチ選手権、日本選手権、リーグHプレーオフ会場、J-Star事業

(4) メディカルチェック事業

各カテゴリー代表チームに帯同したドクターによるメディカルチェックを適宜実施した。

- ①ANTCでの合宿やオンラインにて管理栄養士による栄養指導を実施した。ANTC外での合宿については、管理栄養された食事メニューを提供し、食育活動を行った。
- ②公益財団法人日本スポーツ協会（以下、JSP0）の公認資格「スポーツドクター」の受講者推薦を行った。
- ③NTS発掘育成事業にドクターを派遣した。（アンチ・ドーピング研修実施）
- ④安全管理：コロナからインフルエンザ感染症までの検査ならびに感染防止対策を行った。

9) トレーナーの活動（メディカルサポート委員会・トレーナー専門委員会）

(1) トレーナー派遣

男女代表、男女アンダーカテゴリーにおける国内及び海外遠征にトレーナーを帯同させ、連携を図った。

①男子代表 帯同トレーナー 各2名

- ・国内強化合宿@ANTC

第1回：5/6～12、第2回：6/16～30、第3回：10/11～13、第4回：10/30～11/3、第5回：12/16～1/4

- ・海外遠征：7/20～21@ドイツ、11/4～11@エジプト、1/5～13@ポーランド
- ・国際親善試合@国立代々木第一体育館：7/1、7/3 vs フェロー諸島男子代表
- ・第33回オリンピック競技大会2024(パリ)：7/25～8/11@フランス・パリ

- ・パリ・サン＝ジェルマンハンドボールジャパンツアー2024@国立代々木第一体育館：8/22
- ・第29回男子世界選手権：1/14～2/2@クロアチア/ノルウェー/デンマーク
- ②女子代表 帯同トレーナー：2名
 - ・国内強化合宿@ANTC 選考合宿：10/21～24、第1回：11/17～29
 - ・海外遠征：4/2～4/9@デンマーク
 - ・パリオリンピック2024IHF世界最終予選：4/11～14@ハンガリー
 - ・第20回女子アジア選手権：11/30～12/12@インド
- ③男子U-21 帯同トレーナー：1名
 - ・国内強化合宿 第1回：6/7～9、第2回：6/28～30、第3回：7/5～8、第4回：3/28～31
 - ・第18回男子ジュニアアジア選手権：7/14～25@ヨルダン
- ④男子U-19 帯同トレーナー：2名
 - ・国内強化合宿 第1回：6/3～7、第2回：7/3～7、第3回：8/26～31、第4回：2/25～28
 - ・第10回男子ユースアジア選手権、9/3～14@ヨルダン
- ⑤女子U-20 帯同トレーナー：1名
 - ・国内強化合宿 第1回：4/23～25、第2回：6/7～9、第3回：6/14～16、
 - ・第24回女子ジュニア世界選手権：6/19～30@北マケドニア
- ⑥女子U-18 帯同トレーナー：1名
 - ・国内強化合宿 第1回：5/13～16、第2回：7/16～19、第3回：8/9～12
 - ・第10回女子ユース世界選手権：8/14～25@中国
- ⑦NTS 帯同トレーナー：2名
 - ・U-13センタートレーニング 11/16～17@ANTC
 - ・U-15センタートレーニング 1/10～13@ANTC
 - ・U-16チャレンジサーキット東日本 8/25@仙台
- ⑧NTA 帯同トレーナー：のべ6名
 - ・国内育成合宿 第1回：5/17～19、第2回：10/18～20、第3回：11/22～24
第4回GK：2/14～16（場所はすべてANTC）
 - ・男女欧州遠征 9/1～10@ノルウェー
- ⑨J-Star 帯同トレーナー のべ3名
 - ・タレント検証合宿 第1回：6/21～23@仙台大学、第2回：8/19～21@中部大学、
第3回：10/18～20、第4回：12/26～28、第5回：1/31～2/2
 - ・東日本地区専門測定会 12/28～29（場所の記載のないものはすべてANTC）
- (2) 全日本学生選手権トレーナーブース設置
 - ・11/6～10まで広島で開催された全日本学生選手権大会において、3会場にトレーナーブースを設置、会場の安全対策や選手・スタッフ・審判へのメディカルサポートを実施。
- (3) 定例委員会
 - ・1/18にANTCにてトレーナー専門委員会ブロック委員（10名）により、昨年度の年間活動報告と次年度活動計画を策定し、実施に向けた議論を行なった。特に、各カテゴリーへのトレーナー派遣事業については、年々多数のトレーナーを全カテゴリーに派遣しているため、業務の増加に伴う負担が懸念となっている。また、投球動作における基礎プログラム「THROW7」について、NTSにてトライアル展開を行うための準備・連携を行なった。
- (4) 第1回資格認定制度の実施（本稼働）
 - ・トレーナー専門委員会内での代表トレーナーなどの技術知識向上を目的とした資格認定制度第1回（本実施）を1/18 ANTICにて専門委員会内公募に対し、申込された方から現時点で代表活動及び発掘育成活動にご協力いただいている10名を参加者として実施した。
- (5) トレーナー専門委員会総会
 - ・1/19 ANTICにて実施、約70名参加。トレーナー専門委員会活動の概要説明、全日本学生選手権活動報告、男女日本代表の活動報告、高校専属ATの活動及び学校スポーツにおける安全管理/傷害予防について、大腿四頭筋腱（QTB）を用いたACL再建術の現状と展望、パネルディスカッション～合宿/遠征での失敗談～について検討、意見交換を実施。
- (6) JSP0公認アスレティックトレーナー
 - ・本年度もJSP0加盟競技団体としてトレーナー専門委員会登録者より受講者を公募して推薦者の選考を実施、またATの役割、活動、今後の運用について打ち合わせを実施した。
- (7) 会員登録システム「MY HANDBALL」によるトレーナー専門委員会員の登録
 - ・トレーナー専門委員会会員のMY HANDBALL登録移行推進を行なった。

2. 育成に関する事業

1) 競技者の育成

(1) 発掘育成委員会

実施時期	概要	場所
2024/5/9	第1回会議	web 会議
8/11～13	大会視察派遣 全国中学生クラブカップ 2024	埼玉県さいたま市
8/20～22	大会視察派遣 第53回全国中学校大会	富山県氷見市
11/26	第2回会議	web 会議
12/21～24	大会視察派遣 第33回 U-15 ジュニアセレクトカップ大会	長野県千曲市他

(2) NTS 専門委員会：ナショナルトレーニングシステム (NTS)

実施時期	概要	場所
2024/4/24	第1回運営会議	web 会議
8/24～25	チャレンジサーキット＜東日本会場＞ U-16 男子 9 名、U-16 女子 6 名	仙台大学
10/12～13	チャレンジサーキット＜西日本会場＞ U-16 男子 22 名、U-16 女子 13 名	オムロン 鹿陽センター
10/20	チャレンジサーキット＜中日本会場＞ U-16 男子 39 名、U-16 女子 24 名	中部大学
10/26～27	チャレンジサーキット＜関東会場＞ U-16 男子 17 名、U-16 女子 11 名	大崎電気
11/16	センタートレーニング (U-13) 合計 123 名 スタッフ 25 名 U-13 男子 35 名、U-13 女子 33 名、補助指導者 30 名	ANTC
11/27	第2回運営会議	web 会議
2025/ 1/10～13	センタートレーニング (U-15) 合計 86 名 スタッフ 27 名 U-15 男子 31 名、U-15 女子 28 名	ANTC

(3) NTA 専門委員会：ナショナルトレーニングアカデミー (NTA)

実施時期	概要	場所
2024/4/26	【2024 年度 NTA 説明会】(保護者/指導者 自由参加) 方針および活動内容・予定[スタッフ 4 名、男子 39 名、女子 39 名]	WEB 説明会 /録画配信
5/17～19	【第1回育成合宿】 参加者計 68 名 [スタッフ 17 名、男子 25 名、女子 26 名]	ANTC
9/1～9	【海外遠征】外国籍コーチ、現地クラブとエキシビジョンマッチ等 参加者計 42 名 [スタッフ 11 名、男子 15 名、女 16 名]	スウェーデン ルンド
10/18～20	【第2回育成合宿】 参加者計 62 名 [スタッフ 15 名、男子 23 名、女子 24 名]	ANTC
11/22～24	【第3回育成合宿】 参加者計 52 名 [スタッフ 15 名、男子 18 名、女子 19 名]	ANTC
2025/ 2/14～16	【GK キャンプ@東京開催】 参加者計 41 名 [スタッフ 24 名、女子 GK10 名、補助指導者 7 名] トレーニングパートナー：筑波大女子	ANTC
2/21～24	【GK キャンプ@愛知開催】(一般見学公開) 参加者計 61 名 スタッフ 33 名、講師 4 名、男子 GK11 名、 補助指導者 13 名] トレーニングパートナー：中部大男子	エントリオ /中部大学

(4) J-Star 専門委員会

①競技転向型タレント検証事業

1) タレント検証会議

実施時期	回数	実施場所	概要
2024/5/28	第1回	web 会議	委員/参加者人数 8 名、事務局 1 名
8/6	第2回	web 会議	委員/参加者人数 6 名、事務局 1 名
11/12	第3回	web 会議	委員/参加者人数 10 名、事務局 1 名
2025/3/4	第4回	web 会議	委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名

2) タレント検証合宿

実施時期	回数	実施場所	参加者		
			スタッフ	選手	合計
2024/6/21～23	第1回	仙台大学	7名	4名	11名
8/19～21	第2回	中部大学	8名	4名	12名
10/18～20	第3回	ANTC	6名	4名	10名
12/26～28	第4回	ANTC	9名	4名	13名
2025/1/30～2/1	第5回	ANTC	7名	4名	11名

3) オンライントレーニング（タレント検証のためのオンライントレーニング〈5・6・7期生〉）

実施時期	回数	実施場所	参加者		
			スタッフ	選手	合計
2024/5/10	第1回	web会議	4名	5名	9名
6/28	第2回	web会議	4名	5名	9名
7/26	第3回	web会議	3名	5名	8名
8/31	第4回	web会議	2名	5名	7名
9/20	第5回	web会議	2名	3名	5名
10/4	第6回	web会議	3名	4名	7名
11/22	第7回	web会議	3名	4名	7名
12/13	第8回	web会議	2名	4名	6名
2025/1/24	第9回	web会議	2名	4名	6名
2/28	第10回	web会議	2名	4名	6名

② ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（J-Star プロジェクト）

1) 実行委員会

実施事項	回数	実施場所	概要
2024/11/12	第1回	web 会議	委員/参加者人数 9 名、事務局 1 名
2025/3/4	第2回	web 会議	委員/参加者人数 5 名、事務局 1 名

2) 専門測定会

実施時期	会場	実施場所	参加者		
			スタッフ	選手	合計
2024/11/16～17	西日本地区	福岡大学	8名	3名	11名
12/28～29	東日本地区	ANTC	8名	3名	11名
2025/2/23	和歌山会場	岩出市立体育館	1名	1名	2名

2) 指導者の育成（指導普及本部）

(1) 指導部

① 指導委員会

1) 公認コーチ養成講習会専門科目講習会

コーチ 4：期日 6/21～25@愛知県（大同特殊鋼・大同大学）

受講者数：23 名（23 名合格）

コーチ 3：期日 2/14～16@東京都（日本女子体育大学）、

受講者数：62 名（62 名合格）

スタートコーチ：期日 6/9～11/30@全国 24 会場

総受講者数：325 名（325 名合格）

2) トップコーチセミナー 期日：12/6～7@大阪府、参加者数：50 名

3) 公認コーチ 1 養成講習会免除適応コース専門科目検定試験

期日：2/1～2、場所：大阪府、受講者数：16 名（16 名合格）

4) 全国指導委員長ミーティング 期日：3/26～28@web 会議、参加者数：39 名

5) JHA 認定ビギナーコーチ養成講習会

期日：随時@オンデマンド講義及びレポート、総受講者数：435 名（435 名合格）

3. 審判に関する事業（審判本部）

1) 主な事業

(1) 実施事業一覧

(敬称略)

開催日・期間	事業名	委員会等	開催地	概要及び実績
2024/4/1	マイハンドによる資格（インドア、ビーチ、テクニカルオフィシャル、審判指導員）更新、新規申請書による登録可能（休止、移籍、インドア、ビーチ、テクニカルオフィシャル、審判指導員）			
4/13	第1回審判委員会合同会	審	web会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容／2024年度 事業等の確認 等
4/27～28 5/3	中地区A級審査会	査	京都府	受験者 23名（6名合格）、審査員 5名 @関西学生春季（龍谷大学、立命館大学）
4/28 6/28～30	東地区A級審査会	査	埼玉県 栃木県	受験者 18名（6名合格）、審査員 4名 @関東学生春季（男子2部）、関東社会人・クラブ選手権
5/3～5	レフェリーアカデミー	ア	広島県 広島市	受講者 11名、指導者 4名@中四国学生春季リーグ戦
5/10～12	西地区A級審査会	査	長崎県 諫早市	受験者 16名（7名合格）、審査員 4名 @九州一般選手権大会
5/25	競技規則研究専門委員会	ル	東京都 調布市	＜参加者＞競技規則研究専門委員会委員
5/25～26	北信越ブロックB級審査会	査	新潟県 柿崎市	受験者 5名（5名合格）、審査員 3名 @北信越学生春季リーグ戦
6/1～2	北海道ブロックB級審査会	査	北海道 江別市	受験者 4名（3名合格）、審査員 2名 @北海道春季学生リーグ
6/8～9	東北ブロックB級審査会	査	青森県 青森市	受験者 2名（2名合格）、審査員 2名 @ジャパンオープン 東北予選会・東北クラブ選手権大会
6/16	第2回審判委員会合同会	審	web会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長他 内容：各専門委員会・各連盟・ブロック報告等
6/16	第1回テクニカルオフィシャル専門委員会（兼全国テクニカルオフィシャル担当者会議）	T	web会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長他 内容：顔合わせ、業務の確認、登録者状況の確認等
6/16	第1回審判指導専門委員会（兼全国審判指導担当者会議）	指	web会議	＜出席者＞各都道府県審判指導担当者（または代理） 各ブロック審判指導担当者 各連盟審判指導担当者）他 内容：各専門委員会報告、新規程施行に伴う各種確認等
6/22～23	東海ブロックB級審査会	査	静岡県 静岡市	受験者 6名（6名合格）、審査員 4名 @ジャパンオープン東海予選会・東海クラブ選手権大会
6/22～23	近畿ブロックB級審査会	査	京都府	受験者 7名（6名合格うち女性1名）、審査員 4名 @ジャパンオープントーナメント近畿予選
6/28～30	関東ブロックB級審査会	査	栃木県 宇都宮市	受験者 7名（4名合格うち女性2名）、審査員 6名 @関東社会人・クラブ選手権大会
6/22～23 6/29～30	第1回リーグH チーム・レフェリー合同研修会	H	①愛知県 ②東京都	＜講師＞リーグH審判委員会委員長 ＜受講者＞チーム、レフェリー、レフェリーアセッサー ※ 内容は後日、全関係者に映像共有済み
7/5～6	九州ブロックB級審査会	査	宮崎県	受験者 10名（5名合格うち女性2名）、審査員 3名 @全国クラブ選手権大会・西地区大会
7/14～25	第18回男子ジュニア ハンドボールアジア選手権	★	ヨルダン アンマン	レフェリー1ペア、TD1名を派遣
7/14	本部長ヒアリング	査	web会議	出席者：本部長、各専門委員会委員長 内容：審判本部組織図、2024年度 事業計画の確認他

開催日・期間	事業名	委員会等	開催地	概要及び実績
7/14	第1回全日本大会派遣委員 連絡会	ル 指	web会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、両専門委員会委員 (委員長、連盟派遣委員、サポートスタッフ) 内容：全日本大会派遣に関する内容共有について
7/29～8/3	競技規則研究専門委員・審判指導 専門委員派遣（全国小学生）	ル 指	京都府 京田辺市	競技規則研究専門委員1名、審判指導専門委員1名 派遣
8/7～9	競技規則研究専門委員・審判指導 専門委員派遣（全国高校総体）	ル 指	福岡県	競技規則研究専門委員1名、審判指導専門委員1名 派遣（両名とも副審判長兼任）
8/19～21	競技規則研究専門委員・審判指導 専門委員派遣（全国中学校大会）	ル 指	富山県 氷見市	競技規則研究専門委員1名、審判指導専門委員1名 派遣
8/20、22	パリ・サン＝ジェルマン ハン ドボールジャパンツアー2024	★	東京都 渋谷区	20日担当レフェリー1ペア派遣 22日担当レフェリー1ペア派遣
8/28～30	競技規則研究専門委員・審判指導 専門委員派遣（社会人選手権）	ル 指	福井県	競技規則研究専門委員1名、審判指導専門委員1名 派遣
9/14～15	中四国ブロックB級審査会	査	山口県 周南市	受験者 11名（7名合格うち女性2名）、審査員 4名 @中四国学生秋季リーグ
9/21～22	レフェリーアカデミー	ア	愛知県	受講者 11名、指導者 4名@東海学生秋季リーグ
9/29	第3回審判委員会合同会	審	メール 会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、各専門委員会 委員長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容：レフェリーシンポジウム・S級審判インスト ラクター研修 等
10/16～25	第3回男子ユースビーチ ハンドボールアジア選手権	★	タイ バンコク	TD1名を派遣
10/26～27	ビーチハンドボール 審判講習会	ビ	愛知県 碧南市	全日本ビーチ選手権に合わせて開催
10/26～27	レフェリーアカデミー	ア	福岡県 宗像市	受講者 8名、指導者 4名 @サニックスカップ（グローバルアリーナ他）
11/7～10	レフェリーシンポジウム2024	審	広島県 広島市	＜参加者＞Ramón Gallego氏、競技本部長、審判本 部長、参加者157名、スタッフ22名 (各数値：延べ人数、重複者あり)
11/8～10	競技規則研究専門委員・審判指 導専門委員派遣（全日本学生）	ル 指	広島県 広島市	競技規則研究専門委員1名派遣 審判指導専門委員1名派遣
11/15～17	レフェリーアカデミー	ア	広島県 広島市	レフェリーシンポジウム 受講者 11名 @全日本インカレ（広島県立総合体育館他）
11/12～23	第27回男子 クラブリーグアジア選手権	★	カタール ドーハ	レフェリー1ペア、TD1名を派遣
11/30	審判指導専門委員会	指	web会議	
12/1	第2回全日本大会派遣委員 連絡会	ル 指	web会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、両専門委員会委員 (委員長、連盟派遣委員、サポートスタッフ) 内容：来年度に向けて（派遣報告、各連盟作成プレ ゼン提案、意見交流）
12/4～8	トップレフェリー研修会 (男子大会担当審判員)	審 指	大阪府 大阪市	＜参加者＞競技本部長、審判本部長、大会担当審判 員（8ペア16名）、大会担当テクニカル オフィシャル他
12/4～8	第76回日本ハンドボール 選手権大会（男子の部）	T	大阪府 大阪市	テクニカルオフィシャル1名を派遣（審判本部派遣） 開催地派遣のテクニカルオフィシャルに対する 指導・支援
12/ 7～8	本部長ヒアリング	審	大阪府 大阪市	＜出席者＞審判本部長、各専門委員会委員長、サポ ートスタッフ（指導、競技規則、アカデミー） 内容：本年度活動内容および来年度に向けた活動 内容他

開催日・期間	事業名	委員会等	開催地	概要及び実績
12/ 7～8	専門委員会	ル 指	大阪府 大阪市	＜参加者＞競技規則研究専門委員会委員、 審判指導専門委員会委員 ※ 専門委員会ごとに実施
12/14	第2回テクニカルオフィシャル 専門委員会	T	web会議	＜出席者＞委員、各ブロック担当者他 内容：A級テクニカルオフィシャル審査会の開催 に向けて等
12/18～22	トップレフェリー研修会 (女子大会担当審判員)	審	福井県 あわら市	＜参加者＞競技本部長、審判本部長、大会担当審判 員（8ペア16名）、大会担当テクニカル オフィシャル他
12/18～22	第76回日本ハンドボール 選手権大会（女子の部）	T	福井県 あわら市	テクニカルオフィシャル1名を派遣(審判本部派遣) 開催地派遣のテクニカルオフィシャルに対する 指導・支援
12/21～22	本部長ヒアリング	審	福井県 あわら市	＜出席者＞審判本部長、各専門委員会委員長 (総務、審査、視聴覚、ビーチ) 内容：本年度活動内容および来年度に向けた活動 内容他
12/21～22	競技規則研究専門委員会	ル	福井県 あわら市	＜参加者＞競技規則研究専門委員会委員
2025/ 1/25～26	審判本部合同委員会	審	東京都	＜出席者＞競技・審判本部長・各専門委員会委員長・ブ ロック審判長・連盟審判長 他 内容／2024年度事業等の確認および2025年度 事業等提案・検討
2/14～15	レフェリーアカデミー	ア	岡山県 総社市	兼A級審査：1名の受講生 ※ 審判審査委員会より審査員を2名派遣 @全日本社会人チャレンジ2025
2月～3月	全日本大会担当審判員候補者 研修会	審指 査	全国9 ブロック	各ブロックにて、ブロック審判長・ブロック審判指 導担当者・ブロック審査員にて実施
3/25	第4回審判専門委員会	審	メール 会議	＜出席者＞競技本部長、審判本部長、各専門委員会 委員長他 内容／各委員会報告、AIFコンチネンタル レフェリーコース受験について他
3/25～27	審判指導専門委員派遣 (春の全国中学生選手権大会)	指	富山県 氷見市	審判指導専門委員：1名派遣 ※ 小学生委員会派遣委員 ※ カテゴリーの枠を越えるものの、関連するカテゴ リーから派遣することで、指導の継続性、連携 を図ることを狙いとする
3/25～28	審判指導専門委員派遣 (全国高校選抜大会)	指	大分県 大分市	審判指導専門委員：1名 審判本部長派遣
審： 審判委員会 査： 審判審査専門委員会 指： 審判指導専門委員会 ア： レフェリーアカデミー（集合研修のみ記載） ★： 国際大会				ル： 競技規則研究専門委員会 T： テクニカルオフィシャル専門委員会 H： リーグH審判専門委員会 ビ： ビーチハンドボール専門委員会

(2) レフェリーコース

- ・近畿ブロック：〈前期〉5/4～5/6、〈後期〉9/14～16 @関西学生リーグ（大阪大学体育館他）
前期/後期受講者：宮城県2名/2名、京都府2名/3名、大阪府1名/1名、愛媛県1名/1名
審査結果 4名B級合格、1名C級認定

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、交通費算出、マイハンド登録関係
(審判総務専門委員会)

- (2) 研修用資料の企画・制作
(審判指導専門委員会、競技規則研究専門委員会、ビーチハンドボール審判専門委員会、テクニカルオフィシャル専門委員会)
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握
(競技本部長、審判本部長、連盟審判長、ブロック審判長)
- (4) 国際情報収集と競技規則書（インドア、ビーチ）他解説書等の作成
(競技規則研究専門委員会、視聴覚専門委員会、テクニカルオフィシャル専門委員会)
- (5) 他本部・委員会等との連携強化（競技本部長、審判本部長）

3) A/B級公認審判員審査結果

	2022(令和4)年度		2023(令和5)年度		2024(令和6)年度	
	A級	B級	A級	B級	A級	B級
審査申請者	63	107	56	177	57	52
書類不備	0	0	0	0	0	0
欠席	4	7	3	2	1	6
筆記試験不合格	9	13	9	14	14	9
実技試験不合格	20	8	17	7	22	2
体力試験不合格	体力試験実施なし		体力試験実施なし		3	4
22	2	79	27	54	19	37

4) 審判関係公認資格登録状況 ※ 各年度、右側枠内箇所は全登録者数に対する女性審判員の登録者数

種別	級	2022(令和4)年度		2023(令和5)年度		2024(令和6)年度	
		登録者数	女性	登録者数	女性	登録者数	女性
インドアハンドボール	終身	60	2	110	5	111	5
	国際	11	1	11	1	10	1
	A級	317	19	328	21	349	18
	B級	429	30	477	33	524	43
	C級	780	112	725	106	893	125
	D級	1,340	307	1,647	368	1,783	388
	等級未設定	351	0	36	5	97	11
	インドア審判員 計	3,228	471	3,334	539	3,767	591
	S級テクニカルオフィシャル			2	0	2	0
	B級テクニカルオフィシャル			1,029	181	1,127	211
	テクニカルオフィシャル 計			1,031	181	1,129	211
	A級インストラクター ※			163	4	167	4
	B級インストラクター ※			50	2	46	2
	C級インストラクター			6	0	8	0
	インストラクター 計			219	6	221	6
ビーチハンドボール	ビーチB級審判員兼TO			51	17	44	13
	ビーチ審判員 計			51	17	44	13
	ビーチS級インストラクター			1	0	1	0
	ビーチインストラクター 計			1	0	1	0

新規施行による新たな資格

※ 終身含む

4. 競技普及に関する事業（指導普及本部）

1) 普及部

(1) 学校体育専門委員会

- ①文部科学省スポーツ庁教科調査官への普及活動報告 計1回（4/12）
- ②ハンドボール教材の教具に関する打ち合わせ 計1回（5/16、web会議）
- ③学校体育専門委員会会議 計1回（6/26、web会議）
 - ・2023年度 第25回 ハンドボール研究集会 報告
 - ・教材用ハンドボールに関する進捗状況と意見徴収
 - ・新事業 ハンドボール教材キャラバンに関する協議
- ④2024年度 第1回 ハンドボール教材 キャラバン 計5回（のべ小学校教員174名受講）
 - ・6/15@小松市立矢田野小学校 30名受講、7/24@小松市苗代小学校 45名受講、
 - 8/2@愛知教育大学附属名古屋小学校 33名受講、8/27@金沢市立鞍月小学校 30名受講、
 - 10/24@山鹿市立鹿北小学校 36名受講

(2) マスターズ専門委員会

- ①第32回全日本マスターズ大会（交流型，11人制）8/9～11@岩手県盛岡市及び滝沢市、483名参加
- ②第8回全日本マスターズシニア大会 2/8～9@愛知県豊田市 173名参加
- ③マスターズ専門委員会中央委員会
7/7, 7/21, 10/13, 11/24, 12/15, 1/12, 2/16, 3/9@愛知県（ブラザー工業体育館会議室）

(3) デフハンドボール専門委員会

①普及啓発活動

- ・4/7 市川市ろう者協会（講演）@千葉県市川市 担当：専門委員
- ・5/11 湘南しゅわ市場（体験）@茅ヶ崎市中央公園 担当：専門委員会、Deaf Handball Club
- ・7月 東京新聞140周年展示企画の展示協力（資料提供）
- ・9月 全日本ろうあ連盟競技紹介パネル作成（資料提供）
- ・9/28、11/30 東京都パラスポーツ次世代選手発掘プログラム
@武蔵野総合体育館、Bumb東京スポーツ文化館 担当：専門委員会、Deaf Handball Club
- ・9/29 講演@日本福音ルーテル市川教会 担当：専門委員2名
- ・11/30 神奈川県デフリンピック1年前イベント（展示ブース、ステージ、PR映像作成協力）
@神奈川県横浜市 担当：専門委員会、選手他
- ・東京都「新たな応援方法」制作への協力 担当：専門委員会他
- ・1/29 中野区障害者自立支援協会主催スポーツイベント@東京都中野区 担当：選手他
- ・2/1 小金井手話サークルでの講演@東京都小金井市 担当：専門委員長、選手
- ・2/11 チャレスポ！東京@東京体育館 担当：専門委員会、Deaf Handball Club
- ・2/15 早稲田大学ハンドボール部デフハンドボール体験@早大東伏見体育館
担当：専門委員会、男子デフハンドボール強化選手

②発掘・強化活動

- ・デフリンピックチャレンジトライアウト（東京都主催）
期日：6/22、6/29@新宿コズミックセンター、郷土の森総合体育館
協力：体力科学専門委員会、男子デフハンドボール選手
- ・強化トレーニング及び合宿
 - 1) 8/10～11@ANTC、駒沢屋内球技場 日本体育大学とのテストマッチ
 - 2) 9/14～16@福島県福島市 合宿
 - 3) 10/26～27@ANTC 合宿
 - 4) 11/2～3@臨海青海特別支援学校、麻生体育館 茨城県総合選手権大会兼入江杯参加
 - 5) 12/7～8@ANTC 合宿
 - 6) 1/18～19@ANTC 合宿
 - 7) 2/8～9@川崎市パラスポーツトレーニングセンター 川崎市ハンドボール春季市民大会参加

- 8) 2/14～16@早稲田大学東伏見体育館 デフハンドボール体験会
 @川崎市 川崎市ハンドボール春季市民大会参加
- ③デフハンドボール専門委員会会議 (web会議)
 ・4/26、6/14、12/1、3/23

2) 育成部

(1) 小学生専門委員会

- ①全国小学生ハンドボール大会 8/1～4@京都府 京田辺市
- ②全国U-12指導者研修会 (JSP0指導者資格更新研修) 11/16～17@ANTC 受講者数：23名
 事前検討会議 計5回 5/8、6/12、7/24、10/16、10/22@web会議
- ③小学生専門委員会会議 計7回 5/12、7/12、7/31、9/1、10/27、1/19、3/9
 @web会議 (7/31のみ対面とのハイブリッド会議 ※全国小学生大会時)
- ④全国小学生大会検討ワーキンググループ 計1回 3/27 web会議
- ⑤Jクイックハンドボール再検討小委員会会議 計1回 5/31 web会議
- ① インテグリティ活動

1) 指導者向け指導指針資料の横断幕作成

5/10～7/29作成、7/31～全国展開 (全国小学生大会及び各ブロック大会で掲示)

2) 小学生活動満足度調査 期間：11/8～2/28 対象：全国の小学生選手及び保護者

(2) 中学生専門委員会

①全国大会

- 1) 全国中学生クラブカップ2024 8/10～13@埼玉県 さいたま市
- 2) 第33回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会12/20～24@長野県千曲市、上田市
- 3) 第20回春の中学生ハンドボール選手権大会 3/25～29@富山県氷見市

②中学生専門委員会会議 計3回

8/18@富山県氷見市、12/21@長野県千曲市、3/25@富山県氷見市

(3) 中学生専門委員会クラブ部会会議 8/10@埼玉県さいたま市

5. 競技運営に関する事業 (競技本部、大会運営委員会)

(総括)

2024年度の基本方針として2019女子世界選手権、東京オリンピック大会と続いたメガイベントのレガシーを活かして、大会・競技運営を国際基準に沿ったものにできるよう、主に大会運営を中心に人材育成を行っていくこと。具体的には、国際大会の国内実施、全国大会における主催大会へのJHAの関与度を高めて、観客の増加、各大会の収益の増加を図ることの他、大会コーディネーター、イベントディレクター (競技運営、式典などを司る人材) の育成を目指すことを柱として主要大会の実施運営の他、事業を展開してきた。大会については、主催連盟、開催地、協会事務局、審判本部の絶大なる協力のもと、全ての大会を無事終了できている。目標としていた観客動員など、協会主催の日本選手権においては、観客数の増加や収益増が達成できず、今後に大きな課題を残している。人材育成については、コーディネーター、ディレクターとも大会での役割、権限、組織内での立場の確立なども含めて課題があり、業務マニュアルと合わせて、事務局と連携して引き続き整備を進めていく。

(1) 国内で開催された主要大会の管理・運営・協力 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
7月	男子日本代表 国際親善試合	7/1、3	東京都・ 渋谷区	男子日本代表●29-30 フェロー諸島代表 男子日本代表○31-25 フェロー諸島代表
8月	第37回 全国小学生大会	8/1-4	京都府・ 京田辺市 他	【男子】1:神森ハンドボールクラブ 2:岩国レインボー・キッズ 3:T-SQUARE 京都、HCYOKOHAMA 【女子】1:HC調布 2:花園ハンドボールクラブ 3:ヴィアティン三重ハンドボールクラブ、横浜ハンドボールクラブ
	高松宮記念杯第75回 全日本高校選手権大会	8/8-13	福岡県・ 久留米市 他	【男子】1:駿台甲府高 2:香川中央高 3:総社高、藤代紫水高 【女子】1:昭和学院 2:白梅学園高 3:神戸星城高、高松商業高
	第29回ジャパンオー プントーナメント	8/9-12	滋賀県・ 彦根市他	【男子】1:FOG 2:堺リエゾン大阪 3:興南B I C 【女子】1:佐賀クラブ 2:山口銀行 YMGUTS 3:REDS
	第32回全日本 マスターズ大会 (交流型、順位決定 型、11人制)	8/9-11	岩手県・ 盛岡市他	多くのチームが参加し、盛大に実施された
	全国中学生クラブ チームカップ2024	8/11- 13	埼玉県・ さいたま 市	【男子】1:HC千葉 Jr. 2:HC京都 3:HC調布ジュニアユース、HC市川 【女子】1:大崎ジュニアクラブ、2:HC春吉 Jr.、3:大阪ラヴィッツみらい、ヴィアティン三重ハンドボールクラブ
	第53回全国中学校 大会	8/20- 22	富山県・ 氷見市	【男子】1:東久留米市立西中 2:氷見市立西條中、3:大分市立滝尾中、GHR 【女子】1:東久留米市立西中 2:宇城市立松橋中 3:明石市立望海中、宇土市立鶴城中
	パリ・サン=ジェルマ ンジャパンツアー2024	8/22、 24	東京都・ 渋谷区	男子日本代表●31-37○パリ・サン=ジェルマン
	高松宮記念杯第12回 全日本社会人選手権 大会	8/27- 31	福井県・ 福井市他	【男子】1:トヨタ車体 2:トヨタ紡織九州 3:豊田合成 【女子】1:北國銀行 2:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
9月	第51回全国高等専門 学校選手権大会	9/7-8	北海道・ 函館市	1:徳山工業高専 2:富山工業高専 3:鹿児島工業高専、豊田工業高専
10月	第78回 国民スポーツ大会	10/10- 14	佐賀県・ 神崎市他	【成年男子】1:愛知県 2:佐賀県 3:宮城県 【成年女子】1:石川県 2:香川県 3:熊本県 【少年男子】1:山梨県 2:香川県 3:茨城県 【少年女子】1:東京都 2:千葉県 3:兵庫県 3:兵庫県
	第26回全日本ビーチ ハンドボール選手権 大会	10/26- 27	愛知県・ 碧南市	【男子】1:シースター東海 2:BBJ 3:BHC TOCHIGI 【女子】1:SWAG 2:Thetis 東京 3:KUNOICHI
11月	文部科学大臣杯 第22回日本車椅子 競技大会	11/2-3	岩手県・ 花巻市	1:KnockuSC 2:大阪体育大学 APES-E 3:LBH_6 ※競技の部 I のみ掲載
	高松宮記念杯男子第 67回女子第60回 全日本学生選手権	11/6- 10	広島県・ 広島市	【男子】1:中央大学 2:大阪体育大学 3:筑波大学、関西学院大学 【女子】1:大阪体育大学 2:筑波大学 3:東海大学、東京女子体育大学
12月	第75回日本選手権 大会 (男子の部)	12/4-8	大阪府・ 大阪市	1:豊田合成 2:トヨタ車体 3:トヨタ紡織九州、ジークスター東京
	第75回日本選手権 大会 (女子の部)	12/18- 22	福井県・ あわら市 他	1:香川銀行 2:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 3:プレスステージ・インターナショナルアランマーレ富山、大阪体育大学

12 月	第 33 回 U-15 ジュニアセレクト カップ	12/21- 24	長野県・ 千曲市他	【男子】1:東京都選抜 2:群馬県選抜 3:千葉 県選抜、茨城県選抜 【女子】1:東京都選抜、2:大阪府選抜、3:茨城 県選抜、埼玉県選抜
2 月	第 8 回 全日本マスターズ (シニア大会)	2/8-9	愛知県・ 豊田市	多くのチームが参加、盛り上がった。
3 月	全日本社会人 チャレンジ 2025	2/14- 16	岡山県・ 総社市	1:アブレイズ 2:堺リエゾン大阪 3:HC 岡山
	第 48 回全国高等学校 選抜大会	3/24- 29	大分県・ 大分市	【男子】1:駿台甲府高 2:浦和学院高 3:瓊浦 高、北陸高 【女子】1:高岡向陵高 2:高松商業高 3:水海 道第二高、白梅学園高
	第 20 回 春の全国中学生 選手権大会	3/26- 29	富山県・ 氷見市	【男子】1:氷見市立西條中 2:GHR 3:行方 市立麻生中、京田辺市立大住中 【女子】1:宇土市立鶴城中 2:大崎ジュニアク ラブ 3:安芸高田HC、守谷市立けやき台中

2) 事業実施計画の進捗について

- (1) 各カテゴリー、全国・地域別の各大会における円滑な競技運営のための競技役員養成並びに大会運営マニュアルの作成
 - ①IHF 役員の招聘を行い、国際競技役員、イベントディレクター養成研修会の実施については、審判本部にて元 IHF・PRC 委員長のガレーゴ氏を招聘してシンポジウムを実施した。国内役員の充実を図ることができ、今後国際競技役員養成へのきっかけ作りになった。
 - ②大会誘致・運営マニュアルの作成については、マニュアル作成までは至らなかったが、日本選手権の実施に必要な準備計画・実施計画を作成した。2025 年の実施分からマニュアル作りに反映させていく。
- (2) 競技記録システムを含めた公式記録の運用・取扱いの手順書作成
 - ①電算大会結果入力システムの改訂、MY HANDBALL との連携及び大会公式記録用紙の作成、運用、取り扱いについての手順書作成についての協議、検討は未実施となっている。
 - ②年度初めから 6 月まで協会役員登録、審判登録などと連携して、未登録者への呼びかけなどを行う予定だったが、実施できていない。
- (3) 用具検定規程を含む、競技関係の規程・細則・通知など見直し
 - ①検定協議会開催（7 月まで）は未実施。2025 年中に実施予定
 - ②登録規程の見直し、特別指定強化選手制度について強化育成本部、JHL、全日本学生連盟と協議については、別途進行中。
 - ③ユニフォーム広告規程の見直しは未実施。
 - ④検定印紙料の見直し（増額）、マーケティング本部と連携した収益増の取り組みは見送り。
- (4) 大会運営委員会を中心とした他部門との連携と業務管理の徹底
 - ①大会運営委員会については、懸案であった「国スポ参加資格の見直し」等大会運営に関する協議を行った。国スポ参加資格に関しては、理事会を経て、日本スポーツ協会へ提案まで行った。結果は、滋賀国スポからの導入は見送りとなった。

6. 広報に関する事業

1) 記者会見

- ・ 4/3 彗星JAPAN新監督発表会見
- ・ 5/21 PSGハンドボールジャパンツアー2024 開催会見
- ・ 8/16 彗星JAPAN新監督発表会見

2) 国内、国際大会の関連取材・情報提供

- ・ 4/11～14 パリオリンピック2024IHF女子世界最終予選
- ・ 6/19～30 第24回女子ジュニアハンドボール世界選手権
- ・ 7/1～3 ハンドボール男子日本代表国際親善試合
- ・ 7/6～7 第44回全国クラブハンドボール選手権大会・西地区大会

- ・ 7/14～25 第18回男子ジュニアハンドボールアジア選手権
- ・ 7/25～8/11 第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）
- ・ 8/1～4 第37回全国小学生ハンドボール大会
- ・ 8/8～13 高松宮記念杯第75回全日本高等学校ハンドボール選手権大会
- ・ 8/8～10 第46回令和6年度東日本学生ハンドボール選手権大会 Presented by トヨタ自動車東日本
- ・ 8/9～12 第29回ジャパンオープンハンドボールトーナメント
- ・ 8/9～11 第32回全日本マスターズハンドボール大会（交流型、順位決定型、11人制）
- ・ 8/11～13 全国中学生ハンドボールクラブカップ2024
- ・ 8/11～16 男子第63回・女子第54回令和6年度西日本学生ハンドボール選手権大会
- ・ 8/14～25 第10回女子ユースハンドボール世界選手権
- ・ 8/20～22 第53回全国中学校ハンドボール大会
- ・ 8/20～22 パリ・サン＝ジェルマン ハンドボールジャパンツアー2024
- ・ 8/25～31 令和6年度日韓中ジュニア交流競技会
- ・ 8/27～31 高松宮記念杯第12回全日本社会人ハンドボール選手権大会
- ・ 9/3～14 第10回男子ユースハンドボールアジア選手権
- ・ 9/7～8 第51回全国高等専門学校ハンドボール選手権大会
- ・ 9/16～21 第3回IHF4人制車椅子ハンドボール世界選手権
- ・ 10/10～14 第78回国民スポーツ大会
- ・ 10/26～27 第26回全日本ビーチハンドボール選手権大会
- ・ 11/2～3 文部科学大臣杯第22回日本車椅子ハンドボール競技大会
- ・ 11/6～10 高松宮記念杯男子67回女子60回令和6年度全日本学生ハンドボール選手権大会
- ・ 12/3～10 第20回女子ハンドボールアジア選手権
- ・ 12/4～8 第76回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）
- ・ 12/18～22 第76回日本ハンドボール選手権大会（女子の部）
- ・ 12/21～24 第33回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会
- ・ 1/14～2/2 第29回男子ハンドボール世界選手権
- ・ 2/8～9 第8回全日本マスターズハンドボール大会（シニア大会）
- ・ 2/14～16 全日本社会人ハンドボールチャレンジ2025
- ・ 3/24～29 第48回全国高等学校ハンドボール選抜大会
- ・ 3/26～29 第20回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

3) 日本代表合宿 メディア公開

(1) 男子代表

- ・ 5/10 第1回強化合宿、6/26 第2回強化合宿、8/16 強化合宿、11/1 第4回強化合宿、12/27 第5回強化合宿@いずれもANTC

(2) 女子代表

- ・ 11/25 第1回強化合宿@ANTC

4) プレスリリース（ホームページ、メール、SNS）

- ・ 国内大会・国際大会の結果配信、新規協賛、取材案内、男女日本代表情報など

(1) SNS（2024年4月→2025年3月）

各SNSでの発信コンテンツ充実のための会議を継続しており、確実にフォロワーは増加している。更に多くの皆様にハンドボールの魅力をご理解いただけるべく活動を強化していく。

また、代表選手の個人の魅力、大会の裏側などの発信を増やしていく予定考えております。

- ・ X（旧Twitter）：一般アカウントは1,620人増（13,895→15,515）
日本代表アカウントは2,469人増（16,128→18,597）
- ・ Instagram：一般アカウントは3,148人増（20,852→24,000）
日本代表アカウントは5,890人増（20,110→26,000）
- ・ Facebook：874人増（12,126→13,000）
- ・ YouTube：753人増（17,447→18,200）
- ・ TikTok：一般アカウントは1,432人増（1,760→3,192）
日本代表アカウントは10,500人増（81,200→91,700）

(2) 試合放映

①地上波テレビ中継

パリオリンピック初戦のTBS（地上波）でのTV放映は大きな反響を得た。

- ・パリオリンピック クロアチア戦＝TBS
- ・第75回日本選手権（女子の部）決勝＝NHK Eテレ

②BSテレビ中継

BS松竹東急の協力でIHFオリンピック世界最終予選を3試合放映。

- ・IHFオリンピック女子世界最終予選＝BS松竹東急
- ・高松宮記念杯男子第67回女子第60回全日本学生選手権大会 決勝＝BS松竹東急

(3) インターネット配信

男子日本代表国際親善試合は148千回の視聴者数、パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2024は124千回の視聴者数を記録。また、第48回全国高等学校選抜大会及び第20回春の全国中学生選手権大会は予選から全試合の配信を実施。

⇒多くの方にハンドボールをお楽しみいただける機会になった。

- ・男子日本代表国際親善試合
- ・第37回全国小学生大会
- ・全国中学生クラブカップ2024
- ・パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2024
- ・高松宮記念杯第12回全日本社会人選手権大会
- ・第26回全日本ビーチ選手権大会
- ・高松宮記念杯令和6年度全日本学生選手権大会
- ・第76回日本選手権大会（男子の部・女子の部）
- ・第33回U-15ジュニアセレクトカップ大会
- ・第48回全国高等学校選抜大会
- ・第20回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

7. マーケティングに関する事業

1) 活動実績

(1) パートナー企業に対する関心の高い事業へ共同参画出来る機会の創出

- ・日本代表の新ブランドカラーコンセプト策定に向けた協議を開始し、ユニフォームデザイン刷新に連動した企業参画機会の設計を進行
- ・主催大会や育成年代事業への企業参画を通じたブランド連携を複数社と実施

①国際親善試合で日本代表への壮行試合セレモニーを実施。パートナー企業から花束贈呈実施

②パートナーの社名を育成年代の公式Tシャツに掲載し、現場でのブランド露出を実現

(2) ハンドボールに紐づく社会貢献活動を通じた協賛形態の創出

- ・JOCとのマーケティング連携を活用し、TEAM JAPANパートナー（JOCパートナー）との共同企画を推進

(3) 協賛契約獲得及びご寄付実績

前年度 44,660千円⇒68,170千円に増加

- ・オフィシャルスポンサー契約：2社（新規2社）
- ・ご寄付実績：法人・団体 11件、個人 328件

(4) 大会を活気づける物販ブースの設置

- ・大会名ごとの出店社数
第48回全国高等学校選抜大会：7社、
第76回日本選手権（男子の部）：3社、同（女子の部）：2社

(5) MY HANDBALLの機能を用いた利用者にとって有益と思われる情報の提供

- ・協賛企業と連携した商品・サービス・キャンペーン情報を5件配信

(6) 既存パートナー社の権利履行

- ・主要大会において協賛社ロゴ掲出やPRブース展開等の権利履行を実施

(7) 旅行会社登録制度の運用と次年度選定

- ・オフィシャルツーリスト 3社による大会運用を実施
- ・主管団体との交渉により、旅行業者指定権限のJHA帰属化に向けた調整を継続中

8. 総務に関する事業

1) 諸会議の開催

- (1) 評議員会 6/30 定時評議員会、1/3 臨時評議員会（書面）
- (2) 理事会 4/13 臨時理事会、5/12 臨時理事会、6/8 第1回理事会、7/6 臨時理事会、9/2 臨時理事会（書面）、10/1 臨時理事会（書面）、11/9 第2回理事会、12/14 臨時理事会、1/11 臨時理事会、1/17 臨時理事会（書面）、2/8 第3回理事会、3/8 臨時理事会、3/18 臨時理事会（書面）、3/31 臨時理事会
- (3) 常務理事会 4/20、9/7、10/5、1/11
- (4) 全国理事長会 10/6、2/9

2) ガバナンスコード対応

- ・自己説明を作成、HPにて公開。

3) 規程の改定、新設

- ・評議員選定委員会規程の改定
- ・出張規程の改訂
- ・特定費用準備資金取扱い規程の新設
- ・日本代表選手・監督・コーチの選任等に関する規程の改定
- ・契約競技者、非契約競技者に関する規程の改訂
(チーム及び個人の登録と移籍に関する規程、競技者資格規程、契約競技者経費取扱規程)

9. 財務・会計に関する事項

経常収益は、リーグH加盟チームからの強化協力金の増加と登録料の微増により、受取会費が前年度比 12 百万円増加の 315 百万円、国際親善試合やパリ・サン＝ジェルマンジャパンツアー開催で入場料収入やマーケティング収入等の増加により、事業収益が前年度比 141 百万円増加の 360 百万円、受取補助金等は日本オリンピック委員会等の追加により、前年度比 101 百万円増加の 197 百万円となり、経常収益は前年度比 209 百万円増加の 922 百万円となった。経常費用は、国際親善試合やパリ・サン＝ジェルマンジャパンツアー開催で委託費、支払手数料等の増加により、前年度比 157 百万円増加の 1,005 百万円となった。その結果、当期経常増減額は、前年度比 52 百万円増加の▲ 84 百万円となった。また、特定資産については、国際親善試合の開催、アジア選手権や世界選手権に向けた国内強化合宿の実施等により 67 百万円を取り崩し、当期末残高 31 百万円となった。

10. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム、役員、レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
4月	女子代表	オリンピックIHF最終予選	ハンガリー
6月	女子U-20	第24回女子ジュニア世界選手権	北マケドニア
7月	男子代表	国際親善試合	日本（東京）
	フェロー諸島代表		
	男子U-21	第18回男子ジュニアアジア選手権	ヨルダン
	TD 1 名		
	審判 1 ペア		
	男子代表	ドイツ遠征	ドイツ
	男子代表	第33回オリンピック競技大会	フランス
8月	女子U-18	第10回女子ユース世界選手権	中国
	男子代表	パリ・サン＝ジェルマンジャパンツアー	日本（東京）
9月	男子U-19	第10回男子ユースアジア選手権	ヨルダン
	車椅子日本代表	第3回4人制車椅子世界選手権	エジプト
	TD 1 名		
10月	TD 1 名	第3回男女ビーチアジア選手権	タイ
11月	TD 1 名	第27回男子クラブリーグアジア選手権	カタール
	審判 1 ペア		
	男子代表	エジプト遠征	エジプト
	審判員	レフェリーシンポジウム	日本（広島）
12月	女子代表	第20回女子アジア選手権	インド
1月	男子代表	ポーランド遠征	ポーランド
	男子代表	第29回男子世界選手権	ノルウェー、デンマーク、クロアチア
	TD 1 名		
3月	審判員	国際審判員養成	日本（富士宮）

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) 国際ハンドボール連盟（以下、IHF）関係

- ・IHF総会、理事会などの参加手続きと議題及び議事録の翻訳作業を実施。
- ・第33回オリンピック競技大会、第24回女子ジュニア世界選手権、第10回女子ユース世界選手権、第3回4人制車椅子ハンドボール世界選手権、第29回男子世界選手権への各代表チームの派遣業務の連絡調整を実施。
- ・元IHF審判長を招いたレフェリーシンポジウム開催のサポートを実施。
- ・名誉会長のIHF理事会参加に関する諸手続きを実施。

(2) アジアハンドボール連盟（以下、AHF）関係

- ・AHF常任理事会等の参加手続きと議題及び議事録の翻訳作業を実施。
- ・第18回男子ジュニアアジア選手権、第10回男子ユースアジア選手権、第27回男子クラブリーグアジア選手権、第3回男女ビーチハンドボールアジア選手権の各代表チーム及びTD、審判員の派遣業務の連絡調整を実施。
- ・韓国人審判員を招いての国際審判員養成プログラムの実施をサポート。

3) その他の事業

- (1) 国際競技力向上を目的とした日本代表チームの国際大会派遣の手続き対応。
 - ・出場権を獲得した国際大会に日本代表チームを滞りなく派遣するため、関連する諸外国機関との連携を実施。
- (2) IHF、AHF及び諸外国との関係強化、連携を目的として、IHF/AHF会議に名誉会長を派遣。
 - ・国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化を図った。
- (3) JOC各種ミーティングに参加して、国際力の強化を図った。
 - ・各NFとの連携強化を確認するとともに、オリンピック派遣の協力体制を中心とした国際力向上の

機能強化を推進。

- (4) JOC国際人養成アカデミー（JISLA）の受講助成制度を構築し、2024年度から助成を開始。
- (5) IHFからの依頼により、レジソフリー（松脂なし）ボールプロジェクトを開始。中学生男子クラブチームを対象としたレジソフリーボールの使用感の調査を実施、その結果をIHFに報告。

1 1. コンプライアンスに関する事項

1) 内部通報窓口受付件数

- ・新規内部通報受付：17件（うちコンプライアンス対象外事案5件、解決済み4件）
- ・累積継続案件：6件（うち静観3件）

2) コンプライアンス委員会

- ・委員会開催4回、通報案件は速やかに情報共有実施⇒倫理委員会からの回答（処分）5件

3) コンプライアンスに関する対外公表事案

- ・倫理委員会処分案を下に3回（5件）公表（4/13：2件、6/10、7/8：2件）

1 2. アンチ・ドーピングに関する事項

1) アンチ・ドーピング検査（NFR派遣）の実施

- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）と協力し、ドーピング検査（競技会検査）時に競技団体代表者（NFR）の派遣を実施。
- ・第76回日本選手権大会（男子の部）12/4～8@大阪府大阪市 NFR：1名派遣
- ・第76回日本選手権大会（女子の部）12/17～22@福井県あわら市 NFR：1名派遣
（アンチ・ドーピングアウトリーチ活動はインテグリティ推進委員会にて実施）

1 3. スポーツ・インテグリティに関する事項

- ・本年度は強化本部の活動だけでなく、各本部加盟団体も交えてJHAインテグリティ推進委員会として組織を挙げての活動を発足した。
- ・各本部が計画立案した事業計画に対する計画実行サポート（教材提供、講師紹介、進捗管理等）、政府機関・専門機関（JOC、JSC、スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構、JSPO、JADA、WADA）と連携し、各々の持つ組織課題に向き合うべく活動を実施した。

1) インテグリティ委員会の実施

- ・第1回インテグリティ委員会 1/14@web会議 出席者：10名
各本部活動報告
インテグリティ、アンチ・ドーピング教育活動について
 - ①2025年度アンチ・ドーピング教育年間計画書について
 - ②アンチ・ドーピング教育（アウトリーチ活動対象大会について）
 - ③インテグリティ動画視聴のお願い次年度計画案策定について
- ・第2回インテグリティ委員会 3/17@web会議 出席者：9名
各本部報告（最終）
インテグリティ、アンチ・ドーピング教育活動について
 - ①アンチ・ドーピング年間教育活動計画について
 - ②2025年度事業予算・計画について
 - ③ガバナンスコード（フェンシング協会の好事取り組みについて）

2) 代表選手に対するインテグリティ教育

- ・JHA行動規範、医事委員会によるアンチ・ドーピング研修、JOC提供プログラム（派遣前手続時）

3) オンライン研修

- ・オリンピック強化指定選手向け（派遣前手続時：第33回オリンピック競技大会）
- (1) JOC派遣前手続研修プログラム：対象 男子代表
 - ・5/7 選手10名、スタッフ7名受講、5/9 選手9名、スタッフ3名受講、6/24 スタッフ3名受講
- (2) NF個別プログラム
 - ・男子代表
 - 5/6：日本代表としての行動規範 受講者：選手25名、スタッフ8名
 - 7/8：アンチ・ドーピング研修 受講者：選手17名、スタッフ9名
 - 8/16：インテグリティ研修（日本代表行動規範） 受講者：選手20名、スタッフ11名
 - ・女子日本代表
 - 11/22：アンチ・ドーピング研修 受講者：選手19名・スタッフ6名

4) アンダーカテゴリー代表選手他

- ・JOCによる研修ノウハウの提供（動画教材、研修マニュアルなどを用いた研修）
- (1) 男子U-21
 - 6/8 日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修 選手30名、スタッフ5名
- (2) 男子U-19
 - 7/7 日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修 選手25名、スタッフ5名
- (3) 女子U-20
 - 4/23 日本代表としての行動規範 選手25名、スタッフ5名
 - 4/24 アンチ・ドーピング研修 選手25名、スタッフ5名
- (4) 女子U-18
 - 5/14 日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修 選手25名、スタッフ5名

5) 加盟団体の取り組み

- (1) 都道府県ブロック
 - ・「NO！スポハラ」活動協力依頼：地方、都道府県メール展開内容伝達・共有
- (2) 全日本学生ハンドボール連盟
 - ・11/5 全日本学生選手権大会代表者会議にて外部講師によるインテグリティ研修を実施
アンチ・ドーピング啓発及びクリーンアスリートガイドの配布、大会期間中にはアウトリーチ活動を実施@広島県広島市
- (3) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部
 - ・8/10 全国高校選手権大会代表者会議にて「体罰防止」「考えようインターネットと人権」注意事項に関するリーフレットを配布@福岡県久留米市
アウトリーチ活動：ブースを設置し呼びかけ（リーフレット配布・動画視聴等）200名
 - ・8/24 日韓中ジュニア交流大会 アンチ・ドーピング、インテグリティ研修を実施@アートホテル成田（33名）
 - ・3/24～29 第48回全国高等学校選抜大会代表者会議にてリーフレット配布@大分県大分市
 - ①クリーンスポーツに参加する権利（150部）
 - ②体罰防止啓発（BADH防止）資料（150部）
 - ③NO！スポハラ（150部）
- (4) 日本中学校体育連盟ハンドボール競技部、中学生専門委員会
 - ・8/19 全国中学生選手権大会代表者会議にてアンチ・ドーピング関連リーフレット配布 選手920名@富山県氷見市
 - ・8/10 全国中学クラブカップ2024代表者会議にてアンチ・ドーピング教育リーフレット配布 選手、スタッフ、関係者計1000名@埼玉県さいたま市
 - ・12/20～24 U-15ジュニアセレクトカップ試合会場にてアンチ・ドーピング教育についてのリーフレットを配布。また、期間中はブースを設置し、アンチ・ドーピング教育に関するアウトリーチ活動を実施@長野県千曲市、上田市、選手、スタッフ関係者計1,050名
 - ・3/25 第20回春の中学生選手権大会代表者会議にてリーフレット配布@富山県氷見市
 - ①BAHD防止キャンペーン（2000部）
 - ②NO！スポハラ（2000部）

(5) 小学生専門委員会

- ・ 7/31～8/4 横断幕作成：各地方大会、全国大会に横断幕掲示（暴言・暴力撲滅）
- ・ 全国の小学生選手・保護者向けアンケート実施中（小学生ハンドボール活動満足度調査）

(6) 指導普及・発掘育成

- ・ 発掘育成年代（NTS/NTA/J-star選手スタッフ向け）教育冊子・WEB版にインテグリティについて掲載（ハンドボール選手としての3つの心構え）

6) JSP0公認養成講習会におけるインテグリティ教育の実施

- ・ 公認スタートコーチ養成講習会で「指導者の役割と責任」（90分）を実施
全国24都道府県、1学連（9/21）で合計325名の指導者が受講
- ・ 公認コーチ4・3養成講習会で「スポーツ・インテグリティ」（120分）を実施
公認コーチ4：6/21～25@愛知 受講者23名、公認コーチ3：2/14～16@東京 受講者60名
- ・ JHA認定ビギナーコーチでは、オンデマンド教材にて「指導者の役割と責任」（50分）と「スポーツ・インテグリティ」（30分）を視聴受講 受講者442名

7) アンチ・ドーピングアウトリーチ活動

- ・ 8/8～13：全国高等学校選手権大会@福岡県久留米市 1名派遣
- ・ 11/3～5：全日本学生選手権大会@広島県広島市 1名派遣
- ・ 12/4～6：第76回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）@大阪府 1名派遣
- ・ 12/20～24：U-15セレクトカップ@長野県千曲市、上田市 2名派遣

1 4. アスリート委員会

1) 委員会の開催日程

- ・ 第1回：3/7@web 会議

2) アスリート委員会の具体的な活動方針と内容を明文化

- ・ 我が国におけるハンドボールのアスリートの権利・権益の保護が図られるように、適正な支援に資する活動の推進及びアスリートの立場による意見を日本ハンドボール協会へ反映すること。

3) JOC アスリートフォーラム

- ・ 2/16にJOCアスリート委員会が中心となり「オリンピック研修会」の発展形として「JOCアスリートフォーラム」が開催された。

目的：今回のアスリートフォーラムは、JOC/NFアスリート委員会合同ミーティングも兼ねて、オリンピックの意義や日本のスポーツ界が抱える各種課題の解決に向けた活動事例報告、意見交換等を行う。当日のプログラムから様々な知見を得ることにより、今後の活動の活性化につなげるための有益な情報共有の機会を提供する。

参加：アスリート委員長

内容：スポーツと社会を繋ぐ：オリンピックが挑む新たな役割

車いすラグビー連盟の進化：経営・競技・自治体の連携がもたらす革命

アスリート委員会の活動事例報告

4) 委員会の会議内容

- ・ アスリート委員会の活動の活性化、ハンドボール競技の普及
- ・ 専門誌の休刊が与える影響の懸念⇒デジタルメディアの継続について
- ・ 中学校と高校の大会の変化
- ・ 今後のテーマ設定及び、活性化に向けての意見交換

5) アスリート委員会からの事業報告（常務理事会）

- ・ 6/7 常務理事会への事業報告

15. ビーチハンドボール委員会

前年に引き続き普及活動に注力するとともに、第1回強化合宿を実施する等強化活動を始動する年となった。

1) 第26回全日本ビーチハンドボール選手権

- 10/26日、27@愛知県碧南市（碧南緑地ビーチコート）
 出場：女子 7チーム（選手71名、役員14名）、男子 9チーム（選手91名、役員19名）
 順位：女子 優勝 SWAG、2位 Thetis東京、3位 KUNOICHI
 男子 優勝 シースター東海、2位 BBJ、3位 BHC TOCHIGI
- 10/27の試合前にスポGOMIを実施（18チームが参加）。

2) ビーチイベント/プライベート大会

時期	場所	イベント名	主催/主管	備考
5月	東京都 お台場海浜公園	ジャパン ビーチゲームズ	ジャパンビーチゲームズ フェスティバルおだいば 実行委員会	来場者3万人のビーチ イベント。JHAで体験 会実施
	愛知県 碧南緑地ビーチコート	第14回 東海ビーチ ハンドボール フェスタ	東海ハンドボール協会/ (一社)愛知県ハンドボ ール協会/碧南ビーチス ポーツ大会実行委員会	ビーチハンドボール大 会
7月	東京都 渋谷MIYASHITAパーク	渋谷ビーチ ハンドフェスタ	JHA/ JBHC	ビーチハンド体験会 10月は雨天中止
	神奈川県 SAL SPORTS PARK 横浜 瀬谷	2024ビーチハン ドボール体験会 @神奈川	神奈川県ハンドボール協 会	参加 約60名
	愛知県 碧南緑地ビーチコート	Beach Handball Challenge	JHA/碧南ビーチスポーツ 大会実行委員会	体験会・大会 動画配信あり
8月	神奈川県 横浜市海の公園・特設 コート	YOKOHAMA ビーチ スポーツフェス タ 2024	横浜市・横浜ハンドボ ール協会	ビーチハンドボール大 会
	茨城県 水郷筑波国定公園天王 崎公園砂浜特設コート	ビーチハンドボ ールフェスタ IN 天王崎	NPO 法人行方市スポーツ 協会/麻生フェニックス	ビーチハンドボール大 会
	静岡県 弁天島海浜公園	ビーチスポーツ フェスティバル	浜松市市民部スポーツ振 興課	ビーチスポーツ体験会
9月	宮崎県 青島ビーチ・子供の国 ビーチコート	第11回 Beach Hand Ball Festa in Aoshima	宮崎県ハンドボール協会 ビーチハンドボール委員 会	24チーム参加の大会
	静岡県 遠州灘海浜公園 江之島 ビーチコート	第5回 はままつ ビーチハンドボ ールフェスタ	浜松市ビーチハンドボ ール協会/はままつビー チハンドボールフェスタ 実行委員会・ソーシャル ハンドボールコミュニティ 浜松	27チーム参加の大会
10月	兵庫県 須磨海岸	ジャパンビーチ ゲームズ	ジャパンビーチゲームズ 須磨実行委員会	来場者2.5万人のビー チイベント。JHA/兵庫 県協会で開催・体験会 実施

3) 強化活動

- 男子・女子 代表監督の決定（7月理事会で承認）
- 第1回強化合宿の実施@愛知県碧南市（碧南緑地ビーチコート）
 女子 9/14～15（選手14名参加）／男子 9/15～16（選手17名参加）
- 強化本部との連携（強化本部にビーチ担当を配置）

4) レフェリー講習会講師派遣

- ・ビーチハンドボールでの審判資格制度の開始に伴い、茨城県行方市のプライベート大会にて2名を派遣し、レフェリー講習会を実施。
また、第26回全日本ビーチハンドボール選手権の際にもレフェリー講習会を実施した。
- ・2024年度ビーチB級審判資格 新規11名、更新33名

5) 委員会活動

- ・月1回のペースでweb会議を実施。方針検討・活動報告等を行った。
また、「ビーチハンドボール委員会規程」を制定した(6/1施行)。

1 6. 次世代のためのプレー環境整備プロジェクト

1) 設置の経緯

- 6/8 日本中学校体育連盟(中体連)が2027年度より全国中学生大会(全中)においてハンドボール競技を実施しない旨を発表
- 6/24 「中体連の発表を受けてのJHAの声明文」を発出
- 7/3 JHA会長が中体連会長と面談
- 7/6 JHA臨時理事会において「全中に代わる大会」の必要性を確認
- 9/7 JHA常務理事会においてプロジェクトチームの設置を承認

2) プロジェクトメンバー

- チームリーダー：競技本部 本部長
- メンバー：(公財)日本バスケットボール協会 技術委員会 副委員長
強化育成本部 副本部長(育成担当)、育成委員会 委員長
指導普及本部 本部長、小学生専門委員会 委員長、中学生専門委員会 委員長
ブロック代表 常務理事
JHA事務局長
リーグH事務局長

3) プレー環境モデル検討プロセス

- (1) プレミーティング
10/15、10/16
- (2) プロジェクトチームミーティング
10/18、10/22、11/20、12/16、1/9、1/31
- (3) 個別ミーティング
 - ・ワーキンググループ 11/25、12/2、1/6
 - ・小学生専門委員会会議 1/19
 - ・中学生専門委員会会議 12/21、1/20
 - ・指導普及本部会議 12/13
 - ・リーグH意見交換会 2/20
- (4) 理事会報告
12/14(臨時理事会)、1/11(臨時理事会)、2/8
- (5) その他
全国理事長会報告 2/9

3) 目指したい次世代のためのプレー環境

- ・すべての小学生・中学生にとってワクワクする体験がある充実した日常
試合数の増加、プレイヤーの試合出場時間の確保、拮抗した試合の増加
- ・輝ける舞台
注目される工夫を施した全国大会
育成機関(NTS/NTA)への接続

事業報告に係る附属明細書

記載すべき事項はありません。

以上